

令和3年 6月「月報」

1 はじめに

2年目を迎えた新型コロナウイルスとの闘いは、変異種の蔓延などにより未だその収束は見通せない状況です。

政府は、4月25日からの東京都、大阪府、京都府、兵庫県、福岡県に続き、5月12日から愛知県、福岡県に、同16日から北海道、岡山県、広島県に、同23日からは沖縄県にも緊急事態宣言（合計10都道府県）を発令していました。

しかし感染者減が進まないことから、政府は、5月28日、月末に期限を迎える東京都はじめ9都道府県の緊急事態宣言を6月20日まで延長しました。

自衛隊は、5月24日からワクチン接種の促進をはかるため、概ね3月間の計画で東京と大阪に大規模接種センターを開設・運営しています。

本会は、6月15日（火）、グランドヒル市ヶ谷において、令和3年度の定期総会を予定していましたが、東京都における緊急事態宣言延長に伴い、止むを得ず総会を10月以降に延期することとし、その開催日時は、あらためて理事会に諮り決めることとします。

これは、感染者の早期減少に協力し、参加者（役員、各県会長等）の健康維持こそ現下の要請に叶うと考えるからです。

新型コロナウイルス感染拡大に対する事務局の見通しが甘く、開催直前での延期となり、参加予定者には、多大なご迷惑をお掛けしますことを深くお詫び申し上げます。

2 防衛省・自衛隊の活動

(1) 大規模接種センターの開設・運営

5月27日の菅総理大臣指示を受け、防衛省・自衛隊は、65歳以上の方が新型コロナウイルス感染防止のワクチン接種を2回、7月末までに優先的にできるよう、5月24日から東京と大阪の大規模会場においてワクチン接種を開始しました。

運営期間は、3月間としています。

ア 自衛隊東京大規模接種センター（東京会場）

東京会場では、水口靖規1等陸佐（自衛隊中央病院診療技術部長）をセンター長として、自衛隊の医官50人、看護官等約130人、支援自衛官等約90人及び民間看護師等約110人の総勢約380人の態勢をもって接種にあたっています。

イ 自衛隊大阪大規模接種センター（大阪会場）

大阪会場では、小池啓司1等陸佐（自衛隊阪神病院副院長）をセンター長として自衛隊の医官30人、看護官等約70人、支援自衛官等約70人及び民間看護師等約90人の総勢約260人の態勢をもって接種にあたっています。

ウ 中山防衛副大臣の訓示

5月17日、東京会場での編成完結式において、中山防衛副大臣は「自衛隊史上初めてのオペレーションに臨むことになる。今こそ国民の命と暮らしを守り抜くわが国の「最後の砦」として、その力を遺憾なく発揮する時です。」と訓示しました。

(2) 南スーダン国際平和協力業務（UNMISS）の派遣期間の1年延長

わが国はUNMISS司令部に平成23年11月から要員4名（兵站、情報、施設及び航空運用幕僚）を派遣しています。

UNMISSへの司令部要員の派遣は、南スーダンの和平プロセスの進展を国際社会とともに支援するものであり、我が国の「積極的平和主義」の実践例の一つです。

本年3月12日、国連の安全保障理事会において、UNMISSの活動期間を令和4年3月15日まで1年間延長する決議が採択されました。

上記を踏まえ、政府は5月21日の閣議において、わが国のUNMISS実施計画を変更して、令和4年5月31日まで1年間の派遣期間を延長しました。

(3) 無観客で富士総合火力演習（教育演習）

5月22日、陸上自衛隊で最大の実弾訓練「富士総合火力演習」が、東富士演習場で行われました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で昨年に引き続き一般公開を中止し、インターネットで中継されました。

昨年は、コロナ禍で規模を縮小しましたが、今年是对策を徹底して、富士教導団に加えて、水陸機動団や第1空挺団、第15及び第22即応機動連隊などの部隊から例年並みの隊員約3,000人が参加しました。

この際、戦車・装甲車45両、火砲・迫撃砲54門などとともに、水陸機動団に配備された汎用軽機動車や、師団・旅団が保有する無人偵察機（UAV）が初めて登場しました。

演習は、各装備品の能力を紹介する第1部と着上陸侵攻対処のシナリオに基づく一連の戦闘場面の第2部として構成され、学生の理解促進を図るとともに、陸上自衛隊の高い戦闘能力を披露しました。

なお、本演習を岸防衛大臣が視察しました。



実弾射撃する10式戦車



視察する岸防衛大臣

3 家族会の活動

(1) 大規模接種センターで精励する官民すべての方々への会長の感謝の言葉

5月24日からの東京と大坂での大規模接種センターでのワクチン接種は、関係者の周到な準備により順調な滑り出しをしています。

次のとおり「本会会長からの感謝の言葉」をおやばと6月号第1紙面に掲載し、ワクチン接種に携わる全ての医療従事者等（自衛隊約440人、民間看護師等約200人）への敬意と感謝を表したいと思います。

【会長からの感謝の言葉】

2年目を迎えた新型コロナウイルスとの闘いは、変異種の蔓延などにより未だその収束は見通せない状況です。

防衛省・自衛隊は、65歳以上の方が感染防止のワクチン接種を2回、7月末までに優先的にできるよう、5月24日から東京と大阪の大規模会場で接種を開始されました。これにより、大都市とその周辺の高齢者の感染を防止し、更には全ての感染者減少に大きな成果をもたらすことでしょう。

ワクチン接種に精励されている自衛隊員の方々と接種のあらゆる場面でご協力くださっているすべての方々に、心から敬意を表し、感謝を申し上げます

（公社）自衛隊家族会会長

伊藤 康成

（2）自衛隊大阪大規模接種センター従事自衛隊員を激励（兵庫県伊丹自衛隊家族会）

5月24日、伊丹自衛隊家族会（高木清志会長）の後藤裕太郎相談役が、自衛隊大阪大規模接種センター（大作府立国際会議場）を訪問し、センター長の小池1等陸佐へ本会からの感謝と激励の言葉を伝えました。

小池センター長から、「私たちは、民間から参加された方々と協同し、あらゆる困難を克服し3府県の皆様のために任務を完遂します。」との力強い言葉を頂きました。



大阪大規模接種センターの様子

（3）派遣海賊対処行動水上部隊（第39次隊）への激励（神奈川県家族会）

5月25日、神奈川県自衛隊家族会（小松龍也会長）は、派遣海賊対処行動水上部隊（39次隊）として派遣される護衛艦「ゆうぎり」への本会からの慰問・激励を担当しました。

当日は、小松神奈川県会長と杉田同事務局長が、ゆうぎり艦長（熊代威2等海佐）へ

本会からの激励品と目録を贈呈しました。

ゆうぎりは、6月に出国の予定であり、熊代艦長は、「新型コロナウイルスの影響から任務中に寄港はするものの、物資等の補給のみで乗員は上陸ができない。乗員のストレス発散に知恵を絞る必要がある。」さらに「家族会からの激励にはいつも感謝いたします。有難いことです。」とのお礼の言葉がありました。



後列左佐々木前任伍長 同右小畑ゆうぎり副長
前列左小松会長、中央熊代艦長、右杉田事務局長

(4) 東部方面隊03JXR（家族支援等机上訓練）への参加

5月18日、0900～1100の間、東部方面総監部において実施された03JXRに本部事務局から2名（土谷事務局長と風間局員）が参加しました。

当日は、東方総監部厚生課長（大江1等陸佐）から、03JXRの概要及び家族支援に関する訓練成果並びに反映事項についてのブリーフィングがあり、相互に認識の共有を図ることができました。

特に家族支援施策推進の取組みにおいて、安否確認システムの活用度が増加していることを確認しました。これは安否確認支援受家族が、SNS（PC、スマホ、携帯電話）の普及により、自衛隊との連絡が容易となってきたことが要因です。



東方厚生課長のブリーフィング

(5) 千葉地方協力本部長より感謝状受賞（千葉市自衛隊家族会）

5月31日、千葉市自衛隊家族会（安部育子会長）は、大山康倫千葉地方協力本部長から、感謝状を受賞しました。これは、昨年の自衛隊記念日（11月1日）に予定していた贈呈式が、新型コロナウイルスの感染拡大で延期されており、今回の受賞となりました。



感謝状受賞の安部会長

(6) 家族会活動スナップ

高知駐屯地部隊長への
家族会の説明



高知県家族会（原洋吾会長）

コロナ禍での地区会総会
(3 密回避で)



湘南地区会（藤井博文会長）

「絆デー」会員の集い
(キノコ・芋の採取)



福知山家族会（衣川莞爾会長）

4 事務局からの連絡・お願い

(1) 令和3年度定期総会日時の変更に係る第2回理事会（書面決議）

定款第33条に基づき、総会日時を令和3年6月15日（火）から同年10月13日（水）へ変更することを第2回理事会（書面決議）に諮ります

(2) 令和3年度定期総会（予定）

ア 時期：10月13日（水）13：00～17：00

イ 場所：グランドヒル市ヶ谷

ウ 総会議事内容（これまでと変更はありませんが、確認のため記載します。）

(ア) 審議事項

第1号議案：令和2年度事業報告（案）

第2号議案：令和2年度収支計算書（案）及び監査報告

第3号議案：辞任理事の後任選任（案）

(イ) 報告

報告1：令和3年度事業計画

報告2：令和3年度分担金

報告3：令和3年度収支予算書

（令和3年度資金調達及び設備投資の見込み含む）

報告4：令和2年度「自衛隊の活動支援基金」管理運営委員会報告

報告5：「問い合わせ窓口」この1年を振り返って

報告6：東京オリンピック・北京オリンピック参加者等への激励報告

以上